

点描くんま経済

日銀支店長

見聞録

■84■

下仁田ねぎは、群馬のスターといっているのではないか。群馬に

来る前の私も、東京のスーパーで見つけると心躍ったものだ。聖地巡礼よろしく、スターがおいしく育つ地、下仁田を晩秋に訪れた。

国道沿いにはネギ畑が見え、多くの直売所とともに気分を盛り上げてくれる。圧巻なのは道の駅の特設売り場だ。全国に1200近くある道の駅でも、これだけネギを並べて売るところはないだろう。しかも、当たり前だが、全て下仁田ねぎ！まさに映える観光資源だ。

下仁田ねぎ

下仁田では、町内の本宿から軽井沢に向かう「姫街道もみじライン」も訪れた。元々の「もみじ」の景勝地に、さらに植栽のうえ、地元

群馬の冬の醍醐味

性によく使われ「姫街道」と呼ばれたという。こんなところにも「入り鉄砲に出女」と言われる、武器の江戸流入と大名妻子の江戸脱出を取り締まった歴史が感じられる。宿場町だった本宿を通ると、脇往還のせいか中山道の坂本宿のような大き

が、群馬で驚いたのは牛肉とは限らないことだ。すき焼き店には牛肉と豚肉の両方が用意されていたりして、「おひとり様」だどどちらかでおなかいっぱいだから選択が必要になる。群馬の豚肉は新鮮でおいしい。しかも栄養バランスが良く、リヤクサイを牛肉と欲張つてしま

で手入れしているとのこと。赤色鮮やかなモミジが街道を彩る。「姫街道」は何かと調べれば、本街道に沿った脇往還（脇街道）を意味し、群馬では国道254号線から県道「姫街道もみじライン」が中山道の脇往還だ。本街道ほと関所が厳しくないこともあって女

さはなく、ただ、宿場の町に霧囲気をしっかりと残しながら山あいにとたずんでいた。さて、ネギを食べる「群馬の牛肉であれば、群馬を裏切ることはない」と言えばすき焼きだ

「スナブル。頭ではそう分かってても、牛肉の濃厚な味わいの記憶が邪魔をする。おまけに「群馬の牛肉であれば、群馬を裏切ることはない」と言えばすき焼きだ。皆さま、良いお年を。来年もどうぞよろしくお願ひします。

やキノコ類も当然群馬産。鍋の食材に恵まれる



渡辺真吾（わたなべ・しんご） 1972年生

まれ。岡山県出身。東京大経済学部卒、米ミシガン大で経済学博士号取得。95年に日本銀行入行後、大阪支店営業課長や金融研究所経済ファイナンス研究課長などを経て、2020年9月から現職。